

令和3年10月15日

社会福祉法人つつじの福祉会  
書面による『はぎの郷 2021年度第3回運営推進会議』議事録

社会福祉法人つつじの福祉会 地域密着型小規模特別養護老人ホーム『はぎの郷 2021年度第3回運営推進会議』の開催（開催予定日：令和3年9月27日）に際し、新型コロナウイルス感染防止を第一優先とした書面による開催としたため、令和3年9月27日必着にて、参加予定の方々に対し書面による報告資料を郵送しました。報告内容に対するご意見・確認事項について、令和3年10月4日を期日として募りましたところ、貴重なご意見・確認事項等をいただきました。

以上の書面報告による開催を明らかにするため、ここに本議事録を作成する。

1 書面報告による『はぎの郷 2021年度第3回運営推進会議』を実施した者の氏名

『はぎの郷』 施設長 宮武 昭彦

2 書面報告による『はぎの郷 2021年度第3回運営推進会議』参加者

- ・加古川市 高齢者・地域福祉課及び介護保険課 職員
- ・地域包括支援センターひらおか 職員
- ・特別養護老人ホームうおずみ 施設長
- ・つつじ野地区民生委員
- ・はぎの郷入居者様のご家族

3 「ご意見や確認事項等」について

地域包括支援センターひらおか職員様、特別養護老人ホームうおずみ職員様、入居者様のご家族より5項目につきご意見・ご質問をいただきました。ご意見・ご質問への回答とあわせて添付資料を確認ください。

4 『はぎの郷 2021年度第3回運営推進会議』の開催と閉会

開催日：令和3年9月27日 書面による報告（郵送）をもって開催日とする。

閉会日：令和3年9月27日（期日：令和3年10月4日）開催日をもって閉会日とみなす。

5 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

『はぎの郷』 施設長 宮武 昭彦

「はぎの郷」2021年度 第3回 運営推進会議 「ご意見や確認事項等」

(1) ご意見（ご家族）

： いつもお世話になりありがとうございます。今回、薬についてはヒヤリ、事故は各1件でした。私が申し上げるのは入所に際しての一番の不安が薬の服用だからです。

薬局にも問い合わせしました。各個人だと日時・氏名を明記して色分けされているとの事で、ひとまず安心もしました。でも実際は職員の方の不注意による事故報告が多くありました。入居者の方の事情（認知症等）によるものなら理解はできます。事故報告書は薬そのものが後から発見されるというものが、なかなかゼロになりません。様々な努力をされているとは思いますが、これまでの経過をみていますと職員の経験（スキル）等が大きな理由ではないかと個人的には考えております。

管理者の方におかれましては現場の事情をきちんと把握され色々な工夫と知恵をだして改善していただけるよう強くお願いします。（施設の事情も承知はしていますが、それでもできることなら職員の異動等はないほうが良いと思います）

最後にこの意見や確認事項について回答をいただいておりますが、知見者の方の意見を明示していただけないでしょうか。市の介護福祉課の方と地域包括支援センターの方が参加されていますのでどうみられているのか聞いてみたいです。不記載の時は意見がなかったということですね。

回答： ご意見にありましたように今回の報告での薬件についてはヒヤリハット、事故は各1件でした。職員の不注意による事故報告であり、薬そのものが後から発見されるという事案であり、ゼロでないことに対し、施設としてお詫び申し上げます。精度を高める施策として、各ユニット会議及び専門職員会議を通じて、今後も「薬」を扱う職務としての責任・使命の再確認、「服薬管理マニュアル」の改訂等協議し、管理者として現場の実情をきちんと把握し、色々な工夫と知恵をだし、「服薬管理マニュアル」の遵守励行を説き続けます。

また、「この意見や確認事項について回答をいただいておりますが、知見者の方の意見を明示していただけないでしょうか。」という点につきましては、カテゴリーを明示して「ご意見」を記載しておりますのでご確認ください。（管理者）

(2) ご意見（地域包括支援センター「ひらおか」職員）

： 利用者の気持ちが落ち着かず手をあげる。興奮し落ち着かず物を投げる。利用者さんはどんな時に興奮したり落ち着かなくなるのでしょうか？この様な状態になってしまう前兆はありませんか？落ち着いて過ごしていただくために、どのような対策をされていますか？

回答： 前兆としては他利用者の混乱が引き金になっての興奮であったり、他利用者から自身のことを言われているのでは？と思い、混乱し興奮状態になることがあります。

他利用者の動きが気にならなくなると落ち着かれる事が多いので、そのために、職員からの言葉かけによるコミュニケーションやご本人の大好きなカラオケを歌ったり、時には利用者の居室や共用スペースに自由に移動してもらい、閉塞感のない雰囲気（空気感）を作り、気分よく過ごせるよう支援しています。（当該ユニット介護職員）

(3) ご意見（知見者）

： 委員会活動について「身体拘束等廃止委員会」は活動されていますが、「事故防止検討委員会」の定期的な開催と「安全対策担当者」の選任が義務となりましたが、どのような対応をされていますか？

また「感染症対策」においても同様に担当者が必須となりましたがどのように対応されていますか？

回答： 当施設では隔月に「危機管理委員会」開催しています。（偶数月第2水曜日 11:00 開催）

「安全対策担当者」については、「ケア全般の責任者が望ましい」という国の指針に基づき、「介護支援専門員」をその任にあてています。

「感染症対策」については、医務部門の看護主任が責任者となり、「感染症対策委員会」を隔月に開催し、ノロウイルス・ロタウイルス・疥癬・インフルエンザ等季節を踏まえ、その予防のための研修や訓練を年度計画に基づき実施し、各ユニットの月例会議で全職員に周知しています。コロナ禍での感染対策としては、施設の方針を明確（社会情勢により更新）にし、関係者全員がその方針に基づいての行動となるよう図っています。

（管理者）

(4) ご意見（知見者）

： 「虐待の防止」について「年2回以上の研修の実施」と「専任担当者の設置」が必須となりましたが、どのように対応していますか？

また、新入職員があった場合にも研修は必須ですがどのように実施していますか？

回答： 「虐待の防止」については、「身体的拘束等廃止委員会」（毎月開催）の中で、『虐待？』と思われる事案についても検討し、各ユニットでの月例会議において共有し、「不適切なケア」は？も含めた検証をおこない、その防止に努めています。

「専任担当者」は、介護現場の長である「介護主任」がその任にあたっています。

また、新入職員に対しては、入職時に研修を実施しており、「虐待」につながる恐れのある「不適切なケア」の発生要因の理解及びその払拭並びに「記録」における「不適切な用語」も確認し、知らず知らずのうちに芽生える「心の隙間」に注力することを共有し、虐待防止の風土を醸成しています。

（管理者）

(5) ご意見（知見者）

： 9月に発生した「一口大のから揚げ」を食べた時に喉つまりがありました。食事形態はどのようなになっていたのでしょうか？ 栄養ケアカンファレンスが定期的で開催されていますが、その際に見直し等はできなかったのでしょうか？ 刻みで対応と記録にありますが、食事前に先に刻んだ食事を提供になったのか、それとも食事提供時に職員によって刻んでいるのか？ 刻みのルールに例えれば刻み、極刻み、一口大等があり利用者ごとに定期的に見直しをしているのでしょうか？

コロナ対策等大変かと思えます。皆で乗りきりましょう。

回答： 喉詰めがあった利用者は、あまり食品を小さくすると嫌がり、食事を摂取しないため、本人及びご家族とカンファレンスをおこない、常食で対応していましたが、8月より処方薬が変更になり、食事をかけこんで食べたり、咳やムセる事があり食事（常食：一口大カット等）中は、職員による誤嚥予防の言葉かけと身守りにて対応していました。

9月の事故後は、本人及びご家族にも確認を取り、「刻み食」に変更して提供しております。ただ、かけこんで食事を食べる状況は変わらない為、スプーンを小さなものに変更し、言葉かけと見守りをおこないながらの食事介助で対応しております。

（当該ユニット介護職員）

追記：栄養士より

栄養カンファレンスは定期的を開催しており、その際全利用者様の身体状況や口腔内の状況、咀嚼・嚥下機能の確認や嗜好をもとに、都度形態の見直しはしています。

当該利用者様は、8月より薬の調整がされており食事摂取量に変化は無かったものの、一時的に咀嚼・嚥下機能の低下が起こったとも考えられます。いつもはよく咀嚼しながら食べられる方でしたので、主食は米飯、副食は常食の一口大カット（1.5～2cm程度）を提供しておりました。食べにくいものや大きなものはさらに細かく刻んで提供していましたが（1cm程度）。当施設はクックチルのため、ユニットキッチンにて介護スタッフがカットやとろみなどの加工をしておりますので、利用者様個々人の状態に合わせて都度対応しています。

薬の調整期間中も定期的に経過観察やカンファレンスを開催し、常に食欲や摂取量については話し合っておりましたが、食事に関しては特に変化は見られなかったと介護スタッフより聞き取っていました。ゆえに形態の変更はしていませんでした。ただし、服薬期間中はそのような変化があるかはわかりませんので、見守りは必要と判断していたところの事故でした。現在はきざみ食対応に変更して見守りを行っています。

コロナ対策へのエール有難うございます。更に心引き締めて取組みます。

（管理者）